

第5学年2組 学級活動(1)指導案

第5学年2組(児童数33名)
指導者 本山 史依瑠

1 議題 「一年間ありがとうの会をしよう」

【学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決】

2 児童の実態

本学級の児童は、高学年になり委員会活動やクラブ活動、ハッピーみなみ(たてわり班)の活動などで、周りの人の気持ちを考えて行動したり、下級生のことを考えて行動したりする経験を積んできている。岩井移動教室では、友達と互いに声を掛け合ったり協力したりして、活動を円滑に楽しく進められるよう工夫する姿も見られた。活動を振り返ると、なかなか思うようにできない悔しさを感じながらも、周りの人のために自分の役割をやり切ろう、困っている友達がいたら助けてあげようという気持ちを持ち、行動していた。運動会や移動教室などの行事を通して、友達と協力することの大切さや難しさを感じ、周りの友達に対して感謝の気持ちをもつ児童が増えてきた。

学級会に関しては、「係活動を盛り上げるための会」や、「学級の仲を深めるための会」を行うことを議題に、話し合いをしてきた。学級には様々な考えをもっている友達がいることに気づき、取り組みの内容や工夫を考え、みんなが安心して話し合いに臨めるような方法を出し合いながら、合意形成を図ってきた。しかし、児童の中には、自分の意見を表出することが難しいと感じている様子もある。そのため、学級会ノートを活用しながら「出し合う」を事前に行い、自分の意見を表現できるように工夫している。また、小グループで意見をまとめて全体の場で発表し、全員の意見を表出できるようにしてきた。1学期当初の学級会では意見をもっている児童も、聞き手からの温かい反応や、意見を大切にしたりする雰囲気の中で、だんだんと意見を言えるようになってきた。

2学期には、「2学期頑張ったね会」を行い、音楽会で演奏したことや社会科見学に行ったこと、友達に助けられたことなどを振り返った。また、「3学期もみんなで協力して頑張ろう。」と、次学期への意欲を高めていた。様々な学校行事や、日々の学級の友達との関わりを繰り返していく中で、みんなで協力していこうという意識が高まってきた。

本議題は、「一年間協力して共に過ごし、お世話になったクラスみんなに感謝の気持ちを伝えたい。最後にみんなで最高の思い出を作りたい。」という児童の思いから提案された。一年間ありがとうの会の内容を話し合うことを通して、感謝の気持ちを伝えるとともに、温かな気持ちで6年生へ進級できるようにしたい。

3 本時のねらい

一年間の学級での生活や取組、友達との関わりを振り返り、学級のみんなに感謝の気持ちを伝える会の内容を定めることができるようにする。

4 指導計画

議題	一年間ありがとうの会をしよう	
提案理由	一年間協力して共に過ごし、お世話になったクラスみんなに感謝の気持ちを伝えたり、最後にみんなで最高の思い出を作ったりしたい。	
計画委員会	司会、黒板記録、ノート記録、時計	
話し合いの順序	教師が気を付けること	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
1.はじめの言葉 2.司会グループの紹介 3.議題の確認 4.提案理由の確認 5.決まっていることの確認 6.話し合うことの確認 7.話し合い 話し合うこと① 「一年間ありがとうの会で何をするか」 話し合うこと② 「役割分担をしよう」 8.決まったことの確認 9.振り返り 10.先生の話 11.終わりの言葉	・日時、場所、集会の時間は1時間であることを確認する。(5について) ・提案理由をもとに、目的を意識した話し合いができるようにする。(6について) ・事前に短冊に意見を書いて「出し合う」を行い、比べ合うことから始められるようにする。(7について) ・提案理由を意識しながら、意見を組み合わせたり発展させたりしながら検討する。(7について) ・児童が互いのよさを見付けられるような振り返りをする。(9について) ・児童の意見のよさを見付け、称賛したり、次への意欲をもてるようにしたりする。(10について)	・一年間ありがとうの会の内容や工夫について考え、意見を出したり、合意形成したりしている。 【思考・判断・表現】 〈観察・学級会ノート〉

5 指導上の留意点

・一年間の学級での生活や取組などの思い出を事前に振り返ることで、学級のみんなに対して感謝の気持ちを伝えたいと思えるようにする。